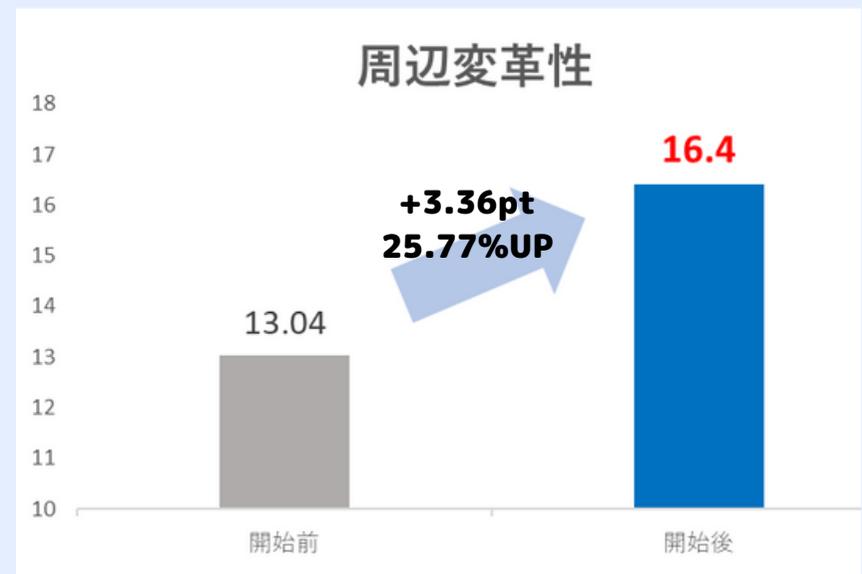
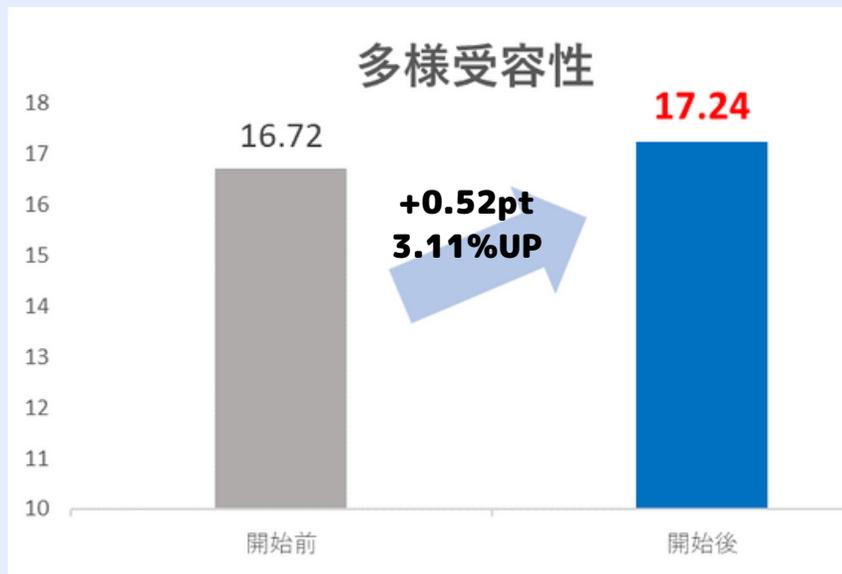
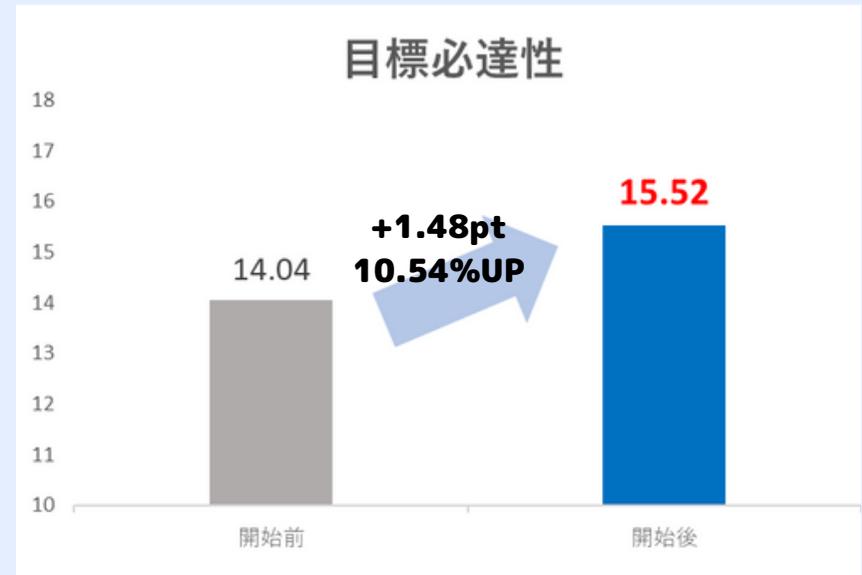
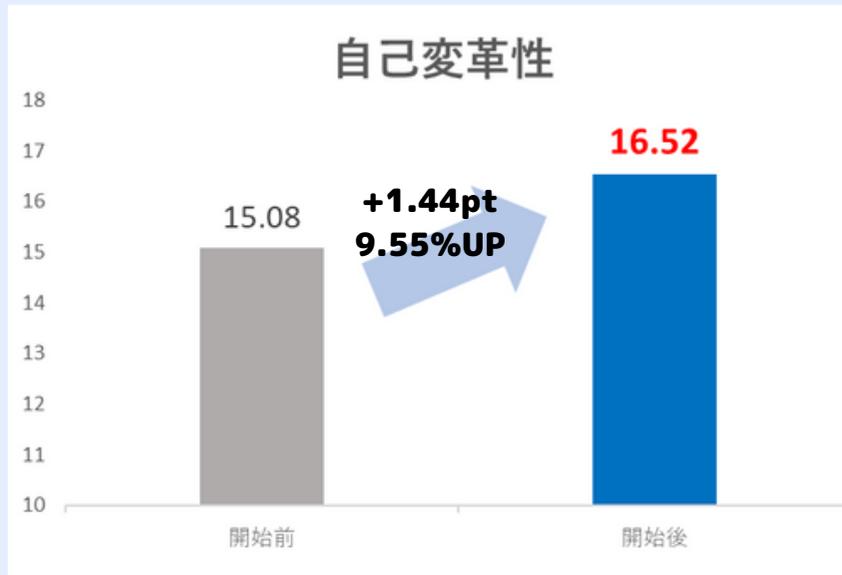
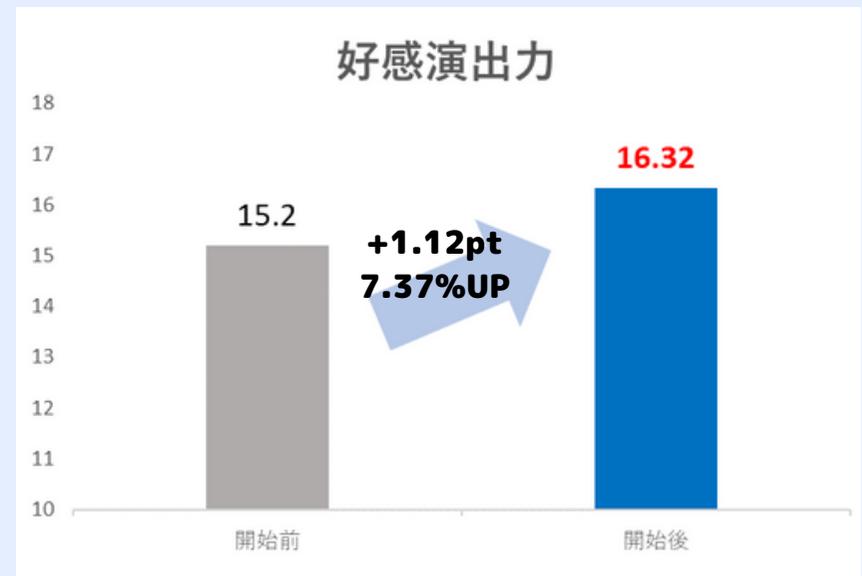
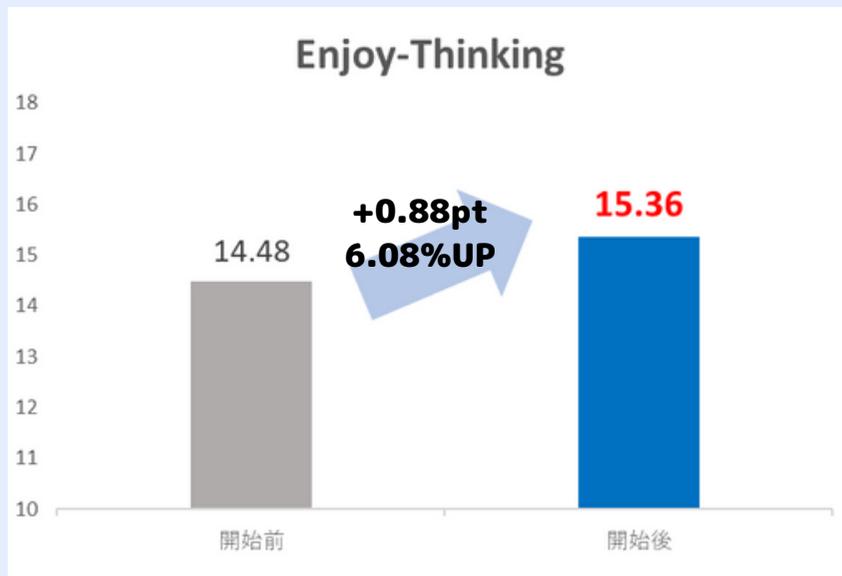
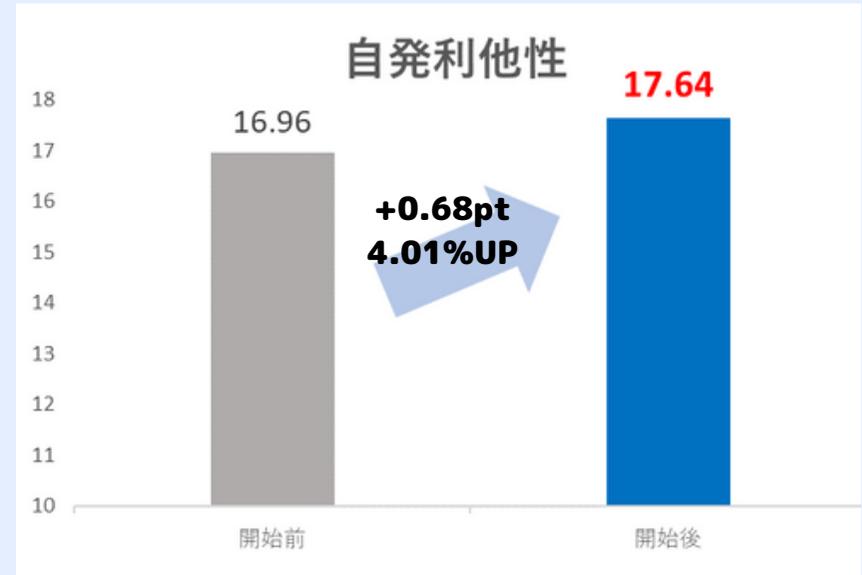
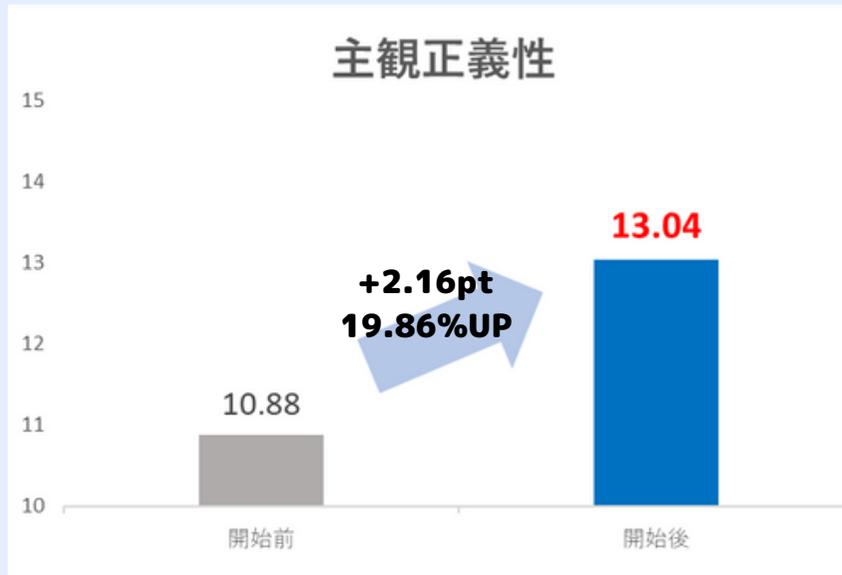


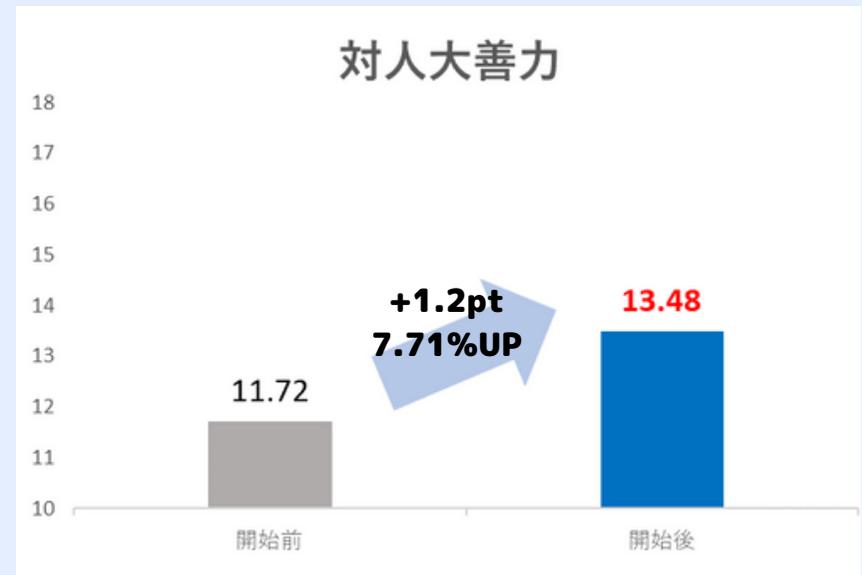
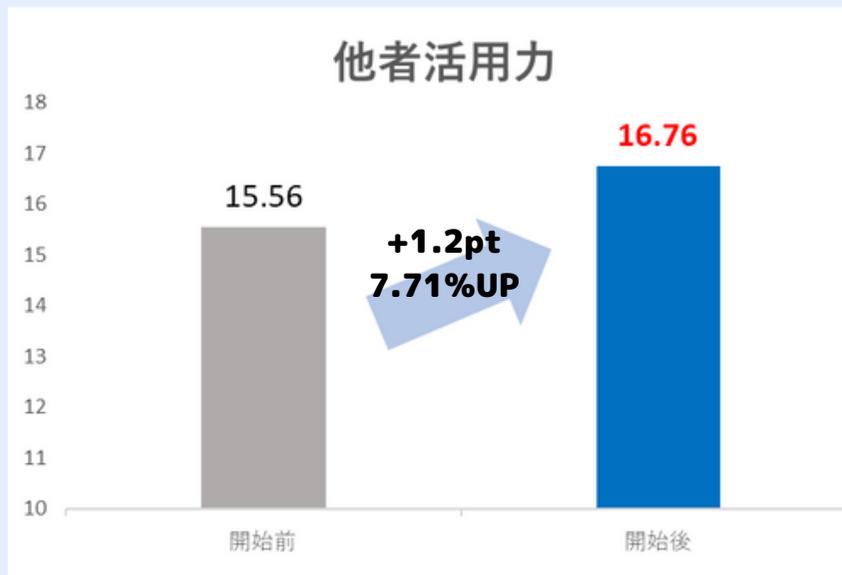
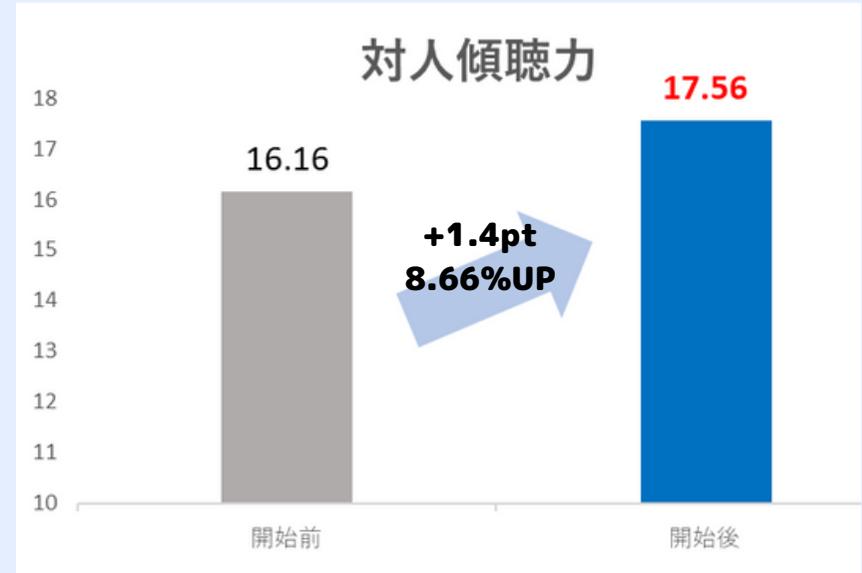
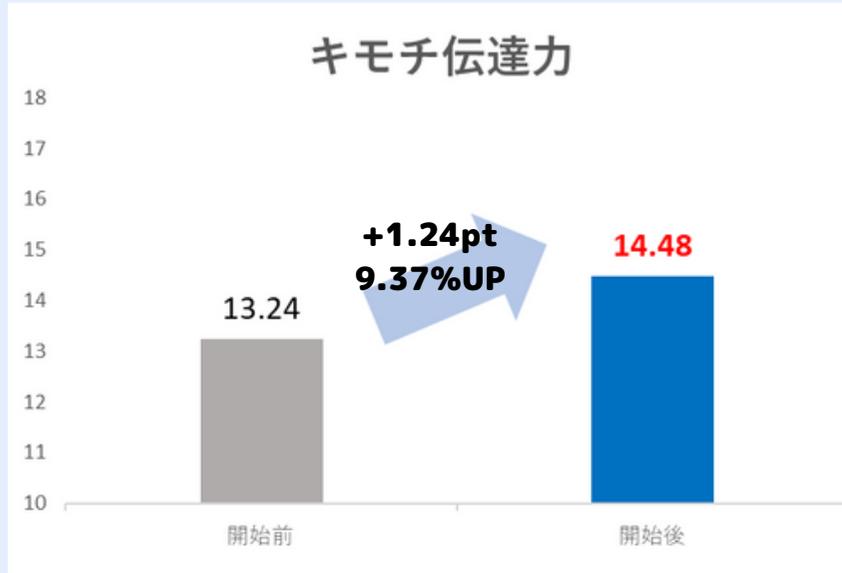
学生のCSAの成長率



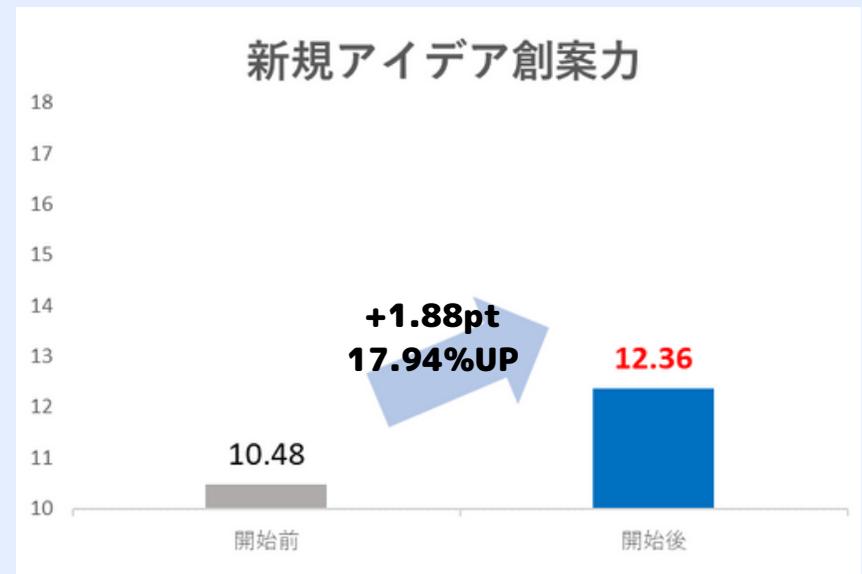
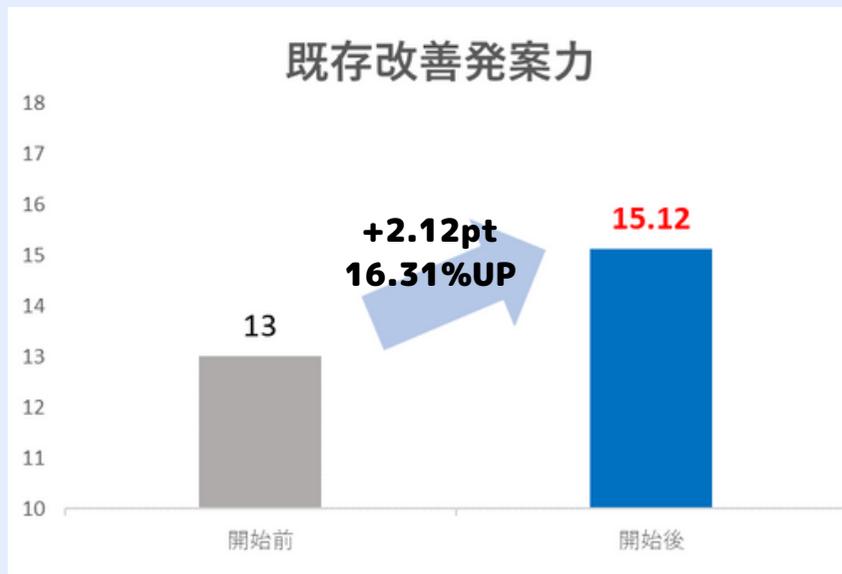
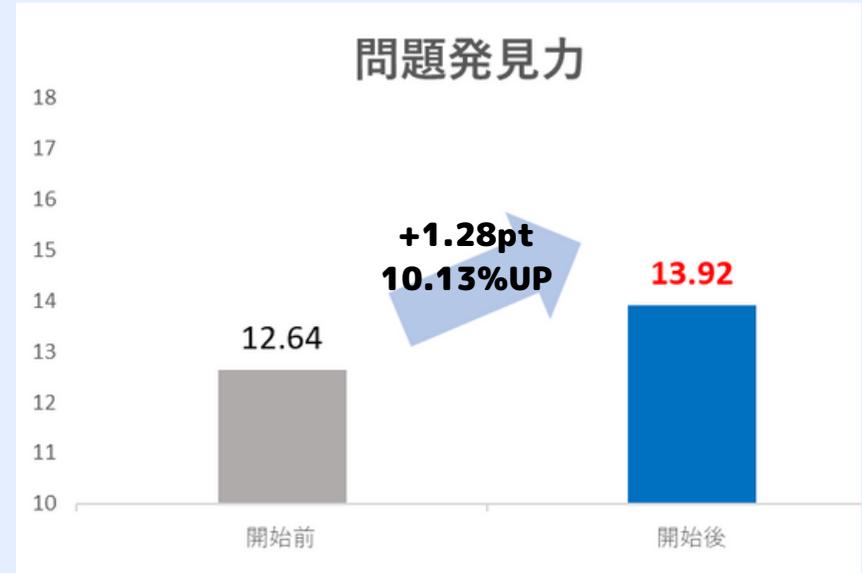
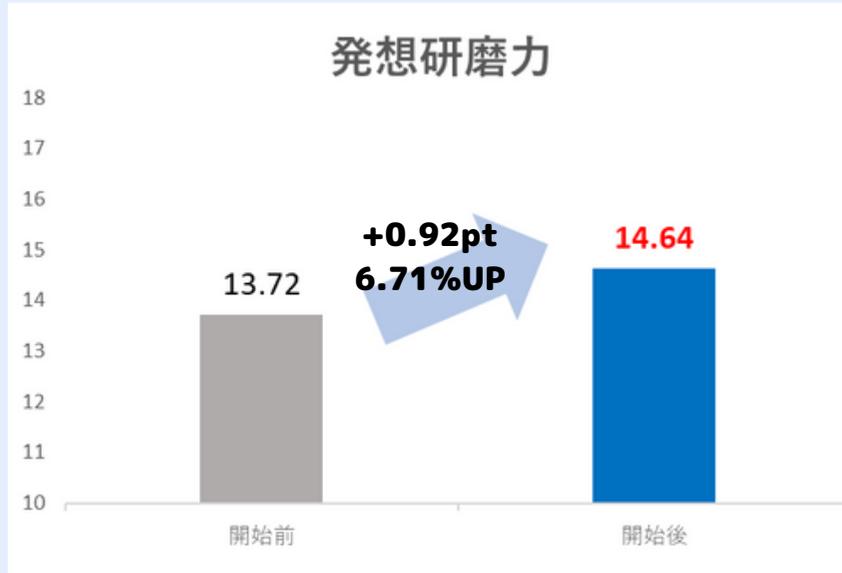
学生のCSAの成長率



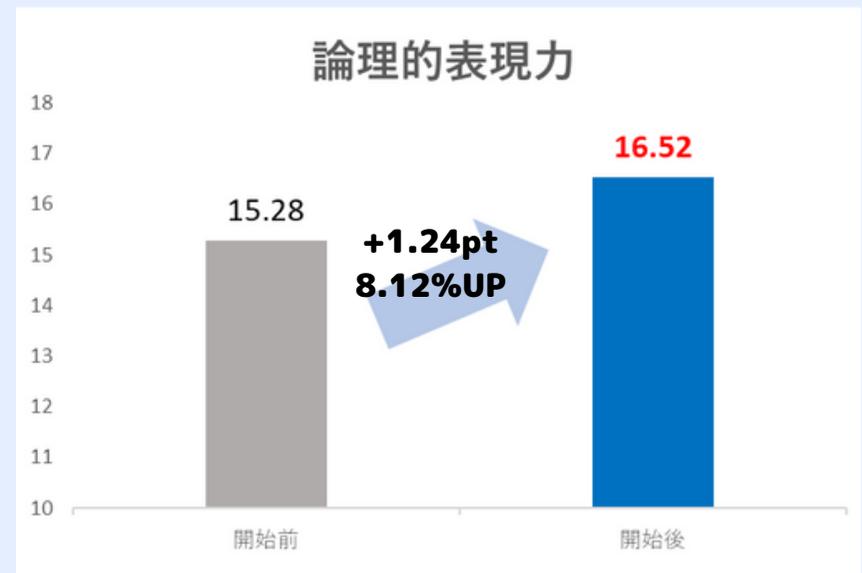
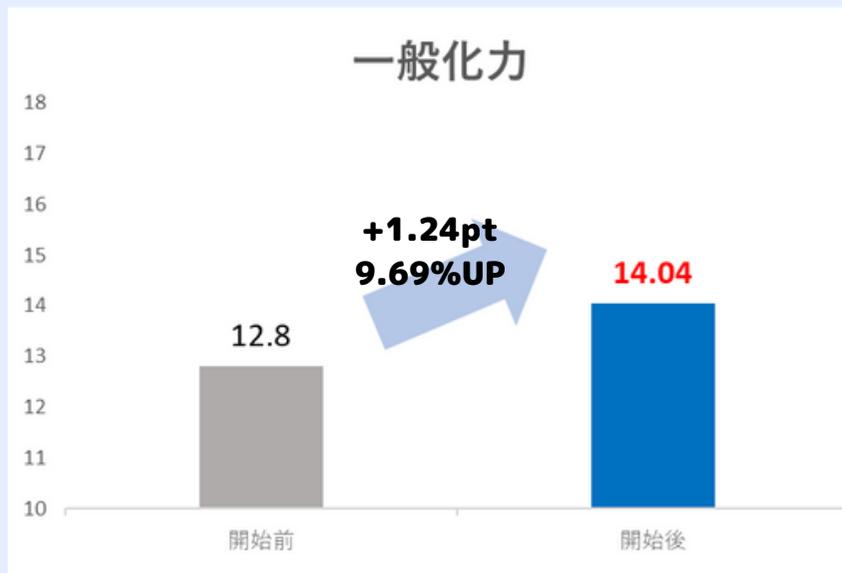
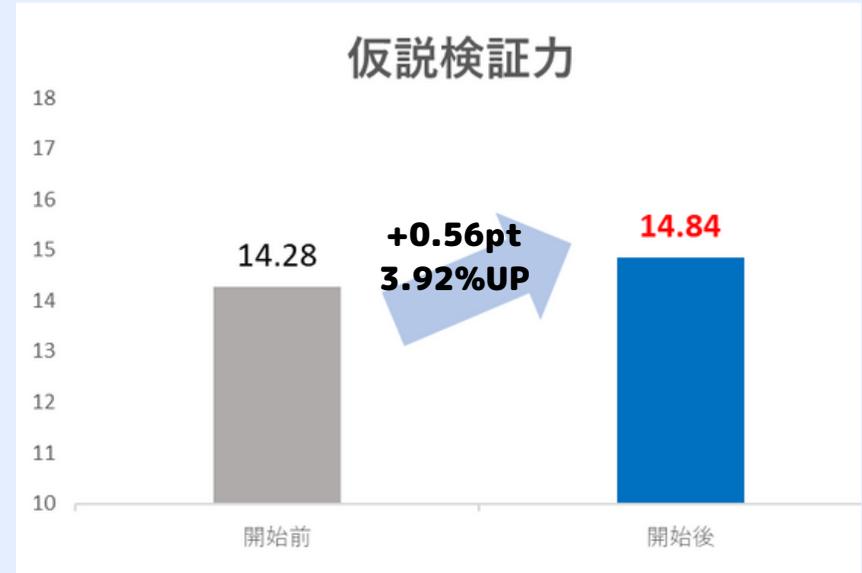
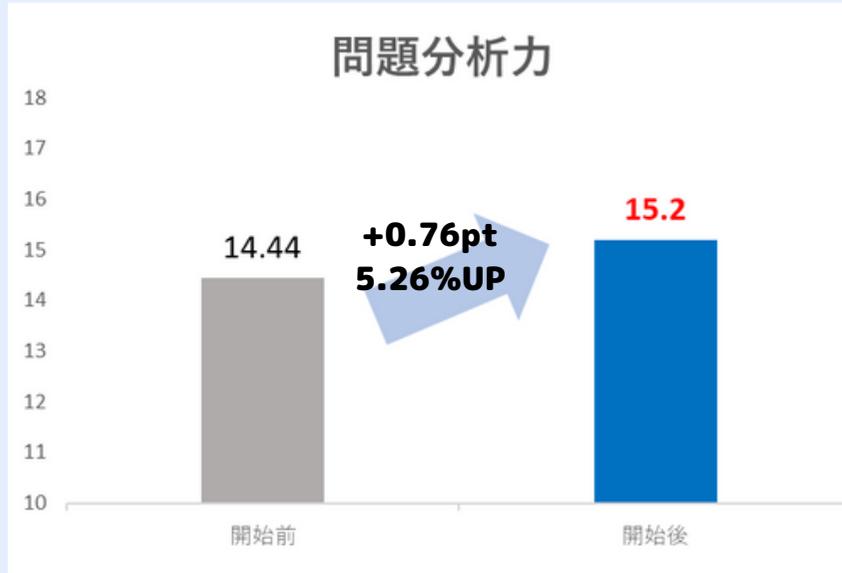
学生のCSAの成長率



学生のCSAの成長率



学生のCSAの成長率



自己変革性

現状に満足せず、学習や研鑽により自分自身をアップデートしていくことを常に意識している

- 現在の知識やスキルに満足せず、学習を継続している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- リフレクションを定期的に行い、自分の考えや行動を主体的にアップデートしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 周囲からのフィードバックを受け入れ、素直に自分の欠点を認めて改善に取り組んでいる

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 過去の成功体験にとらわれず、新たなやり方に意図的に挑戦している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

目標必達性

常にチャレンジングな目標を掲げ、達成に向け努力している

- 目標の達成に強いプライドを持って行動している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 自らチャレンジングな目標を設定している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 自身の目標のみならず、所属組織（バイト、部活・サークル、学生団体）の目標にも積極的に関与している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- ライバル、もしくは自己ベストよりも高い成果を出すことにこだわって行動している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

多様受容性

固定観念にとらわれず、多様な意見に耳を傾け受容している

- 親・教授・先輩後輩・友達・バイト先の上司など、多様な価値観に関心を持ち、自分と意見が違って柔軟に受け止めている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 固定観念を持たず、多様な思想・学説・理論に触れるようにしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 他者から自分へのフィードバックに積極的に耳を傾け、必要に応じて課題点を改善している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 参考になる取り組みやノウハウ（ライバル含め）は、積極的に取り込んでいる

1 - 2 - 3 - 4 - 5

周辺変革性

所属しているサークルや学科、バイトなど、自身の周辺の改善・革新に主体的に挑戦している

-
- 所属コミュニティがより良くなるように、日頃から意識して現状を観察するようにしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属コミュニティの課題に対して改善提案を出すための意図的な情報収集や学習を行っている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属コミュニティの課題解決のために、部長やリーダー職の人に改善案を伝えたり相談している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属コミュニティの現状に満足せず、感じている課題に対して自ら改善に主体的に挑戦している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

主観正義性

社会問題や、まだ社会的に問題となっていないことでも、疑問に思うことがあれば、自分なりの意見や考えを持ち発信している
(SNSで発信する、友達に話す、論文に書く等、どのレベルの発信でも可)

-
- 所属コミュニティにおいて、多くの人が気づいていない問題を発見し、自分なりの改善案を出している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属コミュニティの慣例・慣習に対して「これはおかしい」と疑問を持ち、自分なりの見解を発信している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 世の中では問題視されていない事象に疑問を持ち、調べたり研究したりしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 世の中では問題視されていない事象に疑問を持ち、自分なりの意見を発信している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

自発利他性

自分へのメリットと他者へのメリットで判断に迷う場合は、意識的に他者の幸せや社会の利益を優先できる

- バイト等で新しい仕事に取り組む際は、自ら進んで仕事を覚え、早く自立出来るように努力している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 何か上手くいったときは、周りに感謝を伝えるようにしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 失敗や目標未達成のときは、自分の責任と捉えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 常に相手の立場を意識し、声かけや手伝いなど、工夫している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

Enjoy-Thinking

興味のないことや面倒くさいと思うことがあっても、意識して前向きにとらえ、楽しむ工夫をしている

- 何かに取り組む際は、後ろ向きに捉えずポジティブに取り組んでいる

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- たとえ困難な状況に置かれたとしても、笑顔とユーモアを忘れずに行動している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 面白く取り組むためにゲーム感覚（ワクワク・ドキドキ・ハラハラ）等を持ち、楽しむ工夫をしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- ゴールまでのプロセスを細分化し、1つずつクリアしていく楽しみを味わっている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

好感演出力

相手に自分はどうか映るかを想像し、“感じの良さ”を意識して、挨拶や笑顔、コミュニケーションのとり方などを工夫している

- 親しみやすく感じの良い笑顔を意識的に作っている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 周囲に対し自分から積極的に挨拶を行っている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 明るくハキハキした声で周囲と話をしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 気分が乗らないときでも、相手に好感を与える態度で接している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

キモチ伝達力

相手に自分のことを理解してもらうために、自分の気持ちに嘘をつかず、能動的に伝えている

-
- 自分の気持ちを加工せずに「正直、今の気持ちは〇〇です」と伝えている
1 - 2 - 3 - 4 - 5
 - 相手から聞かれる前に、主体的に自分の気持ちや考えを伝えている
1 - 2 - 3 - 4 - 5
 - グループでの話し合いなどで、内容の良し悪しに関係なく自分の意見を伝えている
1 - 2 - 3 - 4 - 5
 - 伝えたいことを後回しにせず、その場で相手に伝えている
1 - 2 - 3 - 4 - 5
-

対人傾聴力

相手に偏見をもたず受容的・共感的な態度で、相手の話に積極的に耳を傾けている

- 相手の話が重要だと察した時は、静かで周囲に話が漏れない場所や時を選ぶなどの配慮をしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 作業中に声をかけられた時は、手を止め、相手の目を見て話を聴いている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 相手の意見や考え方に納得できなくても、すぐに否定や反論をせず、まずは受け止めている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 言葉や言葉以外の相手の表情や態度にも心を配り、相手の気持ちに積極的に共感しようとしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

他者活用力

他者の協力が必要な場合は、気持ち良く協力してもらえよう働きかけ、終了後は結果と感謝を伝えている

-
- 疑問や不明点を1人で抱え込まず、できるだけ早く、周囲に協力やアドバイスを求めている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 協力のお願いをする時は、相手に気持ち良く受け入れてもらえるような態度や話し方をしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 支援や協力をしてくれた相手に対して、結果を報告するとともに感謝の気持ちを伝えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 普段から様々な人とコミュニケーションをとり、困った時に相談できる良好な関係性を作っている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

対人大善力

相手の成長のためであれば、言いにくいことでも、アドバイスするようにしている

-
- 「相手の成長や今後のため」という視点で、その時は嫌われても、耳の痛い指摘をしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 先輩やバイト先の上司の対応について気付くことがあれば、直接進言を行っている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属コミュニティ全体のためになると思えば、更に上の幹部層等に勇気を持って進言している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 指摘、進言などを行う際は、言い方を一度考えてから言うようにしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

発想研磨力

多様な分野・事象・技術等の情報収集を積極的にすることで新たな視点を獲得し、何かに応用できないか、と意識的に考えている

-
- 読書やWEB検索を習慣とし、それらから得たアイデアの応用を意識的に考えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 歴史・思想・芸術・自然科学など、多様な教養を身に付ける努力をし、日常に役立つヒントを得ている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 仲間と所属コミュニティの課題や社会問題等について積極的に話し、自分自身の思考力を深めている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 学外の活動やセミナー、イベント等を通じて人脈を広げたり、新たな発想や情報を得ている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

問題発見力

現状のあたりまえに疑問を持ち、問題点を見つけ出している
(例：サークル、バイト、世の中の当たり前など、どんな場面でも可)

-
- 自分の作業の進め方を定期的に見直し、非効率な部分など問題点を見つけている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属するコミュニティにおける物事の進め方等に疑問を持ち、問題点を見つけている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 身の回りの物やサービスに対して、あえて疑問を持ち、問題点を見つけている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 相手の成長のために、問題点を見つけている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

既存改善発案力

既にあるものに対して、もっとより良くなるにはどうしたら良いかな？と考えるようにしている

-
- 自分の作業をより効率的に進めるために、現状に対する改善案を考えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属するコミュニティの課題に対する改善案を考えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 身の回りの物やサービスをより良いものにするための改善案を考えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 相手の成長のために、第三者の立場で改善案を考えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

新規アイデア創案力

既存の枠にとらわれず、「こんなのあったらいいな！」という気持ちを大切に、新たなアイデアを考える努力をしている

-
- 自分のバイトでの仕事や大学での研究の中で現状にはない新しいアイデアを出している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 所属するコミュニティの発展のために、今までになかった新しいアイデアを出している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 日常生活を送る中で、新たな商品・サービスのアイデアを考えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 相手の成長のために、今までになかった新しいアイデアを出している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

問題分析力

問題を漠然と考えるのではなく、分析の枠組み※や数値等を用い課題を抽出している。更に優先順位をつけている

(※ロジックツリー、PEST分析、SWOT分析等)

-
- 問題点を正確に把握するために、自分の直感に頼らず、数字を使って定量的に捉えている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 問題点を正確に把握するために、数値化できない定性的な情報を入手している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 問題の中でも解決すべき課題を一つに決めつけず、できるだけ多く見つけ出そうとしている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 取り組むべき多くの課題に対して、重要度や緊急度を踏まえて優先順位をつけている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

仮説検証力

課題に対して仮の答え(仮説)を出し、実践して検証している。時には仮説の再構築や 問題分析に戻っている

(こうかな?と思うことに対して、実際に自分で確かめて検討する)

- 解決すべき課題に対して、具体的な仮の解決策を考え出している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 仮の解決策が有効かどうかを確認するために試行している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 試行した仮の解決策が正しいと確認できれば、それを正式な解決策として実行している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 試行した仮の解決策が正しくないと確認できれば、仮説構築や問題分析に戻っている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

一般化力

個人的な経験や知識・ノウハウを誰でもわかりやすい形に一般化して、他者に共有している

-
- 自分の知識やノウハウを周囲の人も活用できるように配慮し、言語化している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 人には言いづらい自分の失敗体験も、周囲の人が活用できるようにノウハウ化・言語化している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- ノウハウを一般化する際は、自分しかできない特殊性を取り除いている

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 自らの体験で学んだノウハウを自分だけのものにせず、常に、周りに役立つ一般化を意識している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

論理的表現力

相手が納得できるように、口頭や文章などで、結論・理由・根拠の順に筋道を立てて説明している

- 相手に納得させる時は、結論を先に伝え、その後に理由や根拠を示している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 自分の意見が相手に正確に伝わるよう、正しい言葉遣いや正しい文章表現を意識している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 相手の納得性を高めるために、図表やイラストを活用し、より分かりやすく表現している

1 - 2 - 3 - 4 - 5

- 相手の理解レベル・年齢・性別などを考慮し、論理的に伝わるよう、表現方法を工夫している

1 - 2 - 3 - 4 - 5